

平成19年5月18日

〒590-0494

京都大学原子炉実験所

助手・小出裕章様

〒177-0041 4-25

蒼天社政治情報センター

代表・石川鐵也



公開論議における結論 V

今朝、平成19年5月8日付「公開論議における結論IV」に対する小出論（5月14日付）をネットにて拝見しましたが、何故、不毛の論争を繰り返す愚を理解されないのか不思議でなりません。小出さん、「読者に判断を任せた」のではありませんか。にもかかわらず、何故、愚痴や環状論（不利になると最初の議論に戻り、何度も同じ内容を繰り返し相手の疲れを待つ論法であり、北朝鮮の手法に似通っている）を繰り返すのですか。哀れみさえ覚えてなりません。よって、次回で総括し、当該論議を終了したいと考えます。

— 記 —

1. 「原子力発電の代替エネルギーについて」

小出さんも今般記されたように、「原子力発電の即刻廃絶」は非現実的です！
自然環境、国民の負担する電気料金や産業界にも悪影響を及ぼさない代替エネルギー源が確保されていないからです。

小出さんは、「実際に国の政策を大転換するには長い時間がかかってしまいます」などといった空論を論じているだけです。本当に、きちんとした議論を望むのであれば、「ブッシュ政権がごり押しして文言をいれたものです」などと記さずに、何故、ブッシュ政権がごり押ししなければならないのかを述べるべきでした。

私が「即刻」という点だけにこだわっているのか否か、最初から熟読してください。そうすれば、小出さんの思い込みであることが理解できるでしょう。愚論を繰り返しても詮無いことです。終了しましょう。

2. 「安定供給について」

小出さん、私がいつ、「風力発電は不要。原子力発電のみが安定電源だ」などと記しましたか。私は記しておりませんよ。最初から熟読してください。

小出さんこそ、「きちんとした議論をお望みであるなら、相手の主張を曲解せずにおこなってください」（本文言については小出論に同意）。

小出さん、愚論を繰り返しても詮無いことです。終了しましょう。

3. 「核燃料サイクルについて」

小出さんの言質（平時の現在、関係者がどのようにいっているかなど意味のないことです）に対し、では、「平和な時には何らの議論も不要」となりますね、と返すだけです。それなのに、「捻じ曲げます」と言われては仕方ないですね。

小出さんは「反対ありき」ですが、私は「賛成ありき」ではありません。これまでの論議を熟読してください。愚論を繰り返しても詮無いことです。終了しましょう。

4. 「高レベル放射性廃棄物の処理・処分について」

小出さん、私は、貴方に喧嘩を売っているのではありませんよ。本論議を読み直してください。殊更に「価値がない。意味がない」と主張し、喧嘩を売ろうとしているのは小出さん、貴方ですよ。

私に誘導された故でしょうか、小出さんも「国民全体で議論すべきです」と断言されました。では、自治体を二分するような議論が生じるのは「民主社会」故です!といった道理をも理解してくださいね。

小出さん、「瑣末な事実か否かは議論の結果によって判断されるべきものですよ」!それなのに、「石川さんがどのように事実を認識するかは石川さんの自由であり」云々と述べるようでは仕方ありませんね。

小出さん、貴方も研究者の一員ならば、「地上の保管施設もさまざまな困難を抱えているし、危険も抱えています。その上、いずれにしてもせいぜい数十年という期間しかもたないでしょう」などといわずに、「さまざまな困難の詳細」、「危険の詳細」を明確にしたその上で、数十年の具体的な根拠を述べるべきではありませんか。

小出さん、貴方自身が「どちらに理があるのかは読者に任せればすむ」と述べているのですよ!何故、「専門家でない石川さんを相手に、今、細かい議論をすることは意味がありません」と逃げるのですか。読者には専門家もおりますよ。

小出発言の疑問点「埋め立てされた地層処分場の破壊とは一体どのような状況を指しているのか、かつ保管容器がそれなりの機能を保っておれば大丈夫なのか。地上で保管容器がそれなりの機能を有しなくなったらどうなのか」についても明らかにできませんでした。

このような状況下において、「私の発言に対してご質問、ご批判があるのであれば、これまでもそうしてきたように今後もお答えします」と記されても、「これまでもそうしてきたように、ごまかし続けるのだろうか」と苦笑するほかありません。きちんとした反論が出来ないようなので、本項目についても終了しましょう。

以上